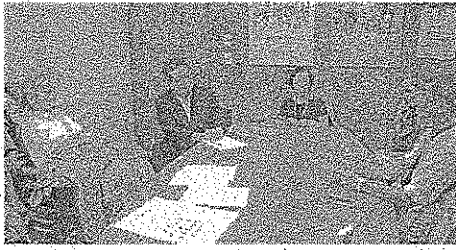


9/16 旗

香川県弁護士会歴代会長が声明

香川県弁護士会の馬場基尚会長を含む歴代会長17人は14日、戦争法案の廃案を求める声

明を發表しました。声明は「70年前の国民が平和を希求し戦争を禁忌(きんき)した



小池晃参院議員(左から2人目)に要請する筋萎縮性側索硬化症の患者ら14日、参院議員会館

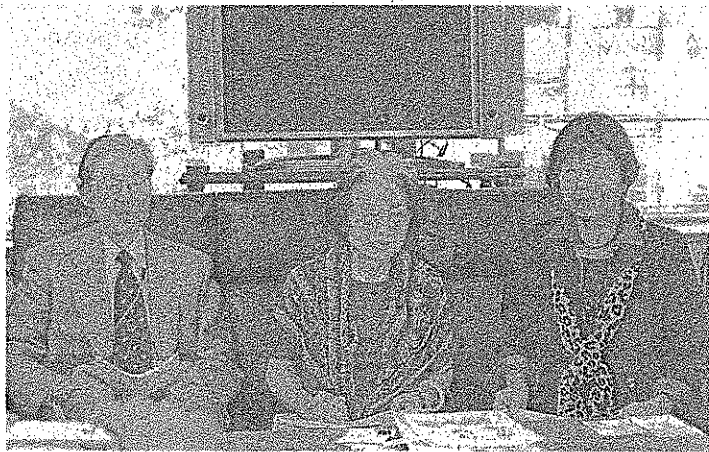
命が切り捨てられる

難病患者が廃案求め署名提出

難病の筋萎縮性側索硬化症(ALS)の患者と支援者が戦争法案の廃案を求めて14日、国会議員への緊急要請行動に取り組みました。日本共産党への要請では小池晃参院議員が応対しました。小池氏に対して、車いすに乗り人工呼吸器

命を脅かす戦争法案は絶対に反対です」と話しました。

佐々木さんと池田さんが代表となって患者6人らが9日に呼びかけた戦争法廃案を求める請願署名は5日間で1121人分が集まり、ノルウェーやアメリカ在住者からも寄せ



声明発表の会見を行う(左から)児玉、竹村、山内の各氏=15日、札幌市

「強行採決行うな」

北海道 元国会議員5氏が声明

1・5倍にも増えています。概算要求をみると社会保障予算は削られ、軍費は過去最高です」と軍事優先の社会に警鐘を鳴らしている。負担が

北海道選出の日本共産党、民主党、社民党の元国会議員5人が連名で15日、「安保法案の強行採決は決して行わないこと」を求める声明を發表し、政府、各党などに送付しました。声明は「国民の6割以上がこの国会での法案成立に反対している状況で採決を強行することは、国民主権を踏みにじる暴挙であり、独裁政治に道を開く」

と指摘しています。

北海道庁での記者会見には児玉健次(日本共産党元衆院議員)、竹村泰子(民主党元参院議員)、山内恵子(社民党元衆院議員)の各氏が参加。竹村氏が「暴挙を許すなど呼びかけ3日間で声明を出すことができた」と経過を報告しました。

児玉氏は、イラク派兵の第1次隊が北海道から出発したことを示し、「再び北海道から隊員を戦場に送るわけにいかない。法案を通させないため力を尽くす」と述べました。山内氏は「元教師の立場から教子を戦場に送らないと活動してきました。歴史の曲がり角だ。採決は絶対許せない」と話しました。